

岩の力学連合会にて発表した論文が学術誌に掲載されました

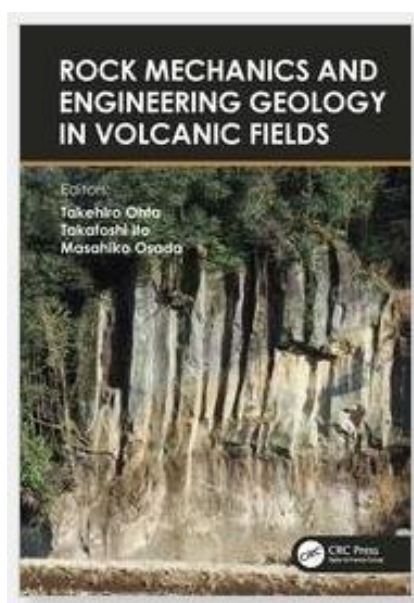
2022年12月6日(火)にCRC出版社より出版されました「Rock Mechanics and Engineering Geology in Volcanic Fields」に、当社の事業推進本部 土壤環境事業部の熱田真一の論文が掲載されました。

この論文は、2021年9月に開催された岩の力学連合会にて熱田が発表した「建設副産物として発生する建設発生土の安全性と有効活用の評価方法」であり、この度学術的な価値があるとして、当該学術誌への掲載となりました。[学会には、日本をはじめ、オーストラリア、エジプト、インドネシア、イタリア、ポルトガル、スペイン、トルコ、イギリスなど9カ国72名の参加者がいました。]

現在、持続可能な開発目標 (SDGs) では、汚染土壌の削減が目標の1つとして掲げられております。しかし、大規模なインフラ工事等で発生する大量な建設残土の中には、自然由来のヒ素の溶出や酸性水の問題が多く報告されています。今回熱田は、建設発生土の堆積物中のヒ素と酸性水の起源を特定し、熱力学シミュレーター「PRHEEQC」を用いて、堆積物からのヒ素溶出率と酸性水の変化について長期評価を行った結果、従来数億円規模の対策費が必要と考えられた建設発生土について、土壌汚染対策をしなくても長期的に安全性を確保できる方法について言及しております。

今後も当社は、持続可能な開発目標 (SDGs)に係る取組の進展に寄与し、国内外で活動を推進してまいります。

以上



CRC 出版社より出版され、論文掲載された学術誌

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

TEL:03-5246-4150

URL: <https://www.atk-eng.jp/>

経営管理本部 吉田